

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
新エネルギー委員長 中 島 稔
両団体専務理事 清 原 淳 平

新エネルギー委員会のお知らせ (第344回)

日 時 令和2年7月8日(水) 午後2時～4時半
場 所 衆議院第一議員会館 地下1階 第3会議室
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時半より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。また、会議開始後にお越しの方は、受付に「第3会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の再生・新エネルギーについて想う
挨拶 中島稔新エネルギー委員長
 - 2、これからの蓄電池トレンドとその役割
解説 逢坂哲彌早稲田大学スマートエナジーシステム・イノベーションセンター長
 - 3、『新エネルギー関連ニュースNO.196』
解説 中島稔新エネルギー委員長

報 告 去る6月4日開催の第343回新エネルギー委員会は、中島稔新エネルギー委員長が議長を務め行われました。

はじめに、中島委員長より、「最近の再生・新エネルギーについて想う」と題して開会挨拶がありました。新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発令されて4、5月は開催を自粛し、3カ月ぶりの開催となる。委員の皆様にも久しぶりにお目にかかったが、お元気な様子で何よりである。岡山は、東京などと違い感染者数も少なかった。ナカシマグループでは、社員の半数をテレワークにし、会議も遠隔で行うなど、働き方が変わった。フィリピンやベトナムにも拠点があったが、3月初旬に駐在員は全員帰国させた。一番の問題点

は、社内のパソコンと社員の自宅のパソコンでは性能が違うこと。特に設計の部分で使うソフトの問題と回線接続の問題である。経済の損失も大きい。リーマンショックをはるかに上回るGDPの減少が今の時点でみられる。

次に、中島稔委員長より『新エネルギー関連ニュースNo.194、195』の解説がありました。今回は、○リチウム硫黄電池の開発。関大は充放電回数の増加に成功。早大は手のひら大に大型化。○太陽熱で効率40%の水素製造を実現へ。○太陽光と海水でアンモニア合成に成功。水素製造への拡充に期待。○アンモニアを低温で合成。生産時にCO₂の排出0へ。○パリ協定目標達成に向けた太陽光発電ビジョンの発表、○原油価格が大幅下落、どこまで下がるかの予測、などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

次に、清原淳平専務理事より、芦田譲京都大学名誉教授の経歴紹介がありました。次に、芦田名誉教授より、「三次元地下構造調査について」と題して解説をいただきました。物理探査とは、地震などの物理現象を使って断層や石油資源を調べる探査法で、石油資源には反射法地震探査、土木には屈折法などが用いられる。求められるのは、透過深度、分解能、信号とノイズの比率などの正確なデータである。二次元調査では、直線でしかデータが取れず、不正確になることもある。三次元探査であれば、地形を面でとらえることができ、より正確である。15年前、この三次元物理探査船を中国、韓国が複数隻所有しているのに対し、日本は1隻も無かったことを憂え、政府に要請書を提出し、5年かけて実現を見た。大陸棚調査に三次元探査を活用することによって、新たな大陸棚が海洋法条約で認められ、日本の領土が倍になったことも一般には知られていない。現在も保有は1隻だが、地震国である日本の断層調査や資源確保の必要性から、複数隻保有を推進したい。石油代替資源としてメタンハイドレートに期待が集まっているが、資源量は多くても、取り出す際のロスが大きすぎ、エネルギーとしての利用はできない。

★レクチュアにつき、当日会費 会員千円にご協力を。
次回、7月8日(水)の新エネルギー委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp

当日連絡先 080(8836)6203 (重田) 080(9292)2620 (高津)